



## みなとフェスティバルが行われました



7月19日（日）に、「岩船商工業会」主催の「第16回みなとフェスティバル」が行われました。台風が接近しており、開催が危ぶまれていましたが、当日は快晴のもとで開催されました。

岩船中学校とリハビリ大学生合同の吹奏楽やバンド演奏、フリーマーケット、わくわく子ども広場、焼き鳥・生ビールなどの販売が行われ、大勢の方で賑わいました。

また今年「新潟プロレス」が来場しました。熱い実況のもと試合が始まり、技がかかると観客から歓声が響き、大盛況となりました。



## 岩船地域の話題

8月2日（日）「岩船港夏祭2015」を開催しました。岩船納涼カラオケ会、岩船甚句大会とともに大勢の方で賑わいました。

当日は、自衛隊の掃海艇「ひらしま」「たかしま」も岩船港に寄港しており、多くの方が船内見学に訪れました。

また、岩船甚句大会の休憩時間に「花火」の打ち上げも行われました。

大勢の皆様にご参加いただき、盛大に開催することができました。ご協力いただきました関係者の皆様、誠にありがとうございました。



歌えやー！  
踊れやー！

2015

# 岩船港夏祭

# 七夕祭り ～ 十二灯流し ～

岩船の七夕は毎年8月6日に行われます。お盆前に行われることからご先祖様を迎えに行く盆迎えの行事です。

岩船の七夕には各町内が葦で作った七夕丸を流します。この七夕丸を流すのは新潟の下越地方の風習らしいですが、今でもこの風習が守られているのは珍しいそうです。

七夕丸には各家庭で持ち込んだ化粧馬を結びます。これはお盆にお迎えする先祖様を乗せて帰ってくるという意味があるそうです。この化粧馬も意味があり、海で亡くなった方がいる家庭では化粧のない「裸馬」、そうでない家庭は色とりどりの色紙が施された「化粧馬」を結びます。

当日は、朝から子ども達が短冊や飾り付けをした竹を持ち、太鼓を叩いて、「七夕おくれよー、七夕おくれよー」と囃しながら町を元気いっぱいに回ります。夕方になると七夕丸に十二個の提灯が灯ります。これが十二灯と呼ばれるものです。この十二灯とともに七夕丸は若い衆に担がれ、子ども達のお囃子とともに浜辺へ運ばれます。

真っ暗な中ににわかに光る七夕丸は幻想的で遠くから眺めると少し哀しくも見えます。その七夕丸が海に流されると、子ども達が太鼓を叩きながら「七夕おくれよー、七夕おくれよー」と囃しをいれて七夕丸を見送ります。

一週間後のお盆に先祖様を迎える七夕丸を静かに見送って岩船の七夕は終わりを迎えます。



## ★今後の予定★

- |           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| 9月 6日 (日) | 第35回 連盟秋季ソフトボール大会<br>会場：岩船運動広場 |
| 9月21日 (月) | 岩船地区敬老会・芸能音楽祭<br>会場：岩船小学校体育館   |



問い合わせ先

岩船まちづくり協議会事務局 担当：渡邊（市自治振興課 岩船地域まちづくり担当）  
TEL：56-7071（岩船地域コミュニティセンターいわくす会館内）  
FAX：56-6055  
メール：toshiki.watanabe@city.murakami.lg.jp